

令和4年5月27日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
理事長 南川 秀樹

令和4年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、弊所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査（1）として、模擬水質試料中の一般項目等（六価クロム(Cr(VI)、カドミウム(Cd)、鉛(Pb)、砒素(As)、全燐の5項目)を対象とします。また、基本精度管理調査（2）として、土壌試料中の金属等（カドミウム(Cd)、鉛(Pb)、砒素(As)の3項目)を対象とします。高等精度管理調査として、模擬水質試料中のペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、ペルフルオロオクタン酸(PFOA)およびペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)の3項目を対象とします。本調査に関する詳細は、本調査のウェブサイト(<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境事業第二部 梶、堀内

電話 044-287-0766

令和4年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領
(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

1. 調査試料

区分	名称	容器 (内容量)	個数	備考
共通試料 1-1	模擬水質試料 (六価クロム(Cr(VI)分析用)	ポリエチレン製瓶 (400 mL) 注1)	1	液体
共通試料 1-2	模擬水質試料 (カドミウム、鉛、砒素、全燐 分析用)	ポリエチレン製瓶 (500 mL) 注1)	1	液体
共通試料 2	土壌試料 (カドミウム、鉛、砒素分析用)	ポリエチレン製瓶 (50 g)	1	粉体
共通試料 3	模擬水質試料 (PFOS等分析用)	アンプル管 (約1.2 mL) 注2)	1	液体

注1) : 分析前に10倍希釈する。

注2) : 分析前に10000倍希釈する。

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬水質試料(一般項目等分析用)

試料中の一般項目等5項目(六価クロム、カドミウム、鉛、砒素、全燐)を測定対象とする。

参加機関は上記5項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 土壌試料(金属等分析用)

試料中の金属等3項目(カドミウム、鉛、砒素)を測定対象とする。

参加機関は上記3項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬水質試料(PFOS等分析用)

試料中のPFOS、PFOAおよびPFHxSの3項目を測定対象とする。

参加機関は上記3項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬水質試料(一般項目等分析用)

環境庁告示59号(最終改定令和3年)及びJIS K 0102 65.2.7に定める方法により分析する。

(2) 土壌試料(金属等分析用)

環境省告示19号(最終改定令和2年)に定める方法により分析する。

(3) 模擬水質試料(PFOS等分析用)

PFOS、PFOAは「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(通知)」(令和2年5月28日付け環水大水発第2005281号・環水大土発第2005282号環境省水・大気環境局長通知)付表1の方法、PFHxSは環境基準健康項目専門委員会(第19回)資料3別紙6 ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)の分析法

(<https://www.env.go.jp/council/49wat-doj/y4911-19b/mat03.pdf>)により分析する。

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期(予定)

8月下旬を予定（詳細は後日、ウェブサイト上に掲載）
配布日の詳細が固まり次第、ウェブサイトでお知らせ致します。

(2) 報告期限

令和4年9月30日（金）

ただし、分析結果報告の方法（ウェブサイト又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、9月22日（木）となります。

(3) 調査結果の報告（公開等）

全体の中間報告は12月下旬頃を予定しています。

分析結果を報告いただいた機関には、翌年度（時期未定）に「調査結果報告書（本編、資料編）」（環境省 編）を送付予定としています。

5. 調査参加申し込み方法

(1) 申し込み方法

申し込み方法には「ウェブサイトによる方法」、「郵送による方法」があります。「ウェブサイトによる方法」は、ウェブサイト

「<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択します。開いたページの<調査参加申込の方>にある申し込みフォームに、必要事項を入力してください。「機関コード」をお忘れになった機関、「機関コード」を保有していない新規参加機関につきましては、「機関コード」は空欄でお申し込み下さい。試料発送時に「機関コード」、「パスワード」を併せてお送りします。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(3)送付先へ送付ください。「郵送による方法」でお申し込み頂いた機関には、試料発送時に「機関コード」、「パスワード」を併せてお送りしますので、分析結果報告等はウェブサイトからの報告も可能です。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。

(2) 申込期限

令和4年6月24日（金）（必着）

(3) 郵送の送付先

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
環境事業第二部 梶、堀内
TEL 044-287-0766
seidokanri0@jesc.or.jp

6. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内、国外の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各種の統計量の算出根拠に該当する報告値、分析条件別の回答数、あるいは各種の文章表現等につきましては、機関名は伏せた上で公表します。参加申込をいただいた機関におかれましては、その旨をご了承ください。

Zスコアの記載をご希望の機関は、測定結果の入力時にZスコア希望欄へのご記入をお願いいたします。機関名を伏せた上でZスコアを結果報告書(資料編)に併記いたします。

(3) 極端な分析結果

極端な分析結果(外れ値等)を報告された場合には、原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(4) ウェブサイトによる分析結果の報告

環境測定分析統一精度管理調査ウェブサイトで本調査に関する情報等を閲覧することができます(<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)。

参加機関は、当ウェブサイトから分析結果報告を行ってください。用紙による報告は必要ありません。ウェブサイトによる報告が難しい機関のみ用紙による報告とします。用紙による報告期限は、ウェブサイトによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

なお、今年度からウェブサイトによる分析結果の報告方法が変更されていますので、ご留意ください。

(5) 試料の追加請求

原則として、1分析機関につき事前にお申込みいただいた1セットの試料を送付しています。ただし、募集締め切り後に残余の試料がある場合には、実費相当(+送料)で送付いたします。追加試料をご希望の場合は締め切りまでにその旨ご連絡ください。

(6) 共通試料1について

この度、共通試料1を1-1と1-2との2つに分けて配布することになりました。精度の高い調査を実施するためにご理解賜りますようお願いいたします。

令和4年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

機関名		
機関コード	(お分かりでしたらご記入ください)	
試料の送付先	〒	
担当者	所属	TEL: () -
	氏名	FAX: () - E-mail:
結果の報告方法	(ウェブサイト、用紙) ^(注)	
希望する試料、 (数字、あるいは分析結果報告の方法を○で囲んでください)	1. 共通試料 1 - 1 (模擬水質試料：六価クロム分析用)	
	2. 共通試料 1 - 2 (模擬水質試料：カドミウム、鉛、砒素、全燐分析用)	
	3. 共通試料 2 (土壌試料：カドミウム、鉛、砒素分析用)	
	4. 共通試料 3 (模擬水質試料：PFOS、PFOA、PFHxS分析用)	

(注) 分析結果報告の方法(ウェブサイト、用紙)を○で囲んでいない場合は、ウェブサイトによる報告となりますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

令和4年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

令和4年 月 日

機関名

印